

千葉工業高校吹奏楽部の足跡—創部73年

C昭41B 春日信行

千葉工業高校吹奏楽部の誕生

千葉工業高校吹奏楽部は1952年(S27)習志野市の津田沼校舎で産声を上げました。(以後 千工吹と表記)

当時、音楽仲間が細々と活動していたところに荒川一郎先生が着任され、状況は一変しました。音楽部(ギター、マンドリンなど)のリーダーだった小原和夫さん(28E)は早速、荒川先生に顧問をお願いしました。

翌年には、部の飛躍を図るべく大々的に新生を勧誘しようと先生に相談したところ、先生はブラスバンド創設の意向があり、現在準備中である。創設されれば3年後には現音楽部は発展的解消をせざるを得ないので、音楽部は従来通り部長運営でやってもらいたいとの話でありました。

小原さん達は本校にブラスバンド部が創設されるのかという喜びの反面、その仲間に入れず、この音楽部もこの1年で終わりか、という寂しさを感じたとのことでした。

(南総支部南総だより第29号 小原和夫さんの寄稿より)

同年、12本の楽器が準備され、12人編成のブラスバンド部がスタートしました。

翌1953年(S28)、荒川先生が「千工マーチ」を作曲されたことにより、県内で自前のマーチを保有する類のない学校となりました。その後、「千工マーチ」はブラスバンド部員の「心の拠り所」として長年にわたりあらゆる場面で演奏されてきました。

1958年(S33)2月8日(土)には千葉市教育会館で「第1回定期演奏会」が開催され、荒川先生の指揮により交響曲「未完成」及び「運命」の第1楽章が演奏され、意欲的な演

奏であったとして大きな評価を受けました。

(千葉県吹奏楽連盟20周年記念誌より)

この演奏会が県内高校の定期演奏会の先駆けとなり、各校がこれに追随してきました。

千工吹はその後、荒川先生の人柄と情熱により、瞬く間に県内高校随一の吹奏楽団体へと成長していきました。

当時の、年間の演奏活動としては校内各種行事演奏、毎年の定期演奏会、県吹奏楽コンクール、高校野球開会式・閉会式、優勝旗授与における演奏、外部からの演奏依頼等々、輝かしい実績を残してきました。高校野球入退場演奏は当時千葉工業吹奏楽部が単独で演奏していましたが、その後、千葉商業高校、習志野高校が加わるようになりました。

1960年(S35)3月に荒川先生は京葉工業高校へ教頭として離任されました。先生を失った1961年(S36)の県吹奏楽コンクールは銚子商業高校に敗れ、関東大会出場が叶いませんでした。この結果を心配し、翌1962年(S37)荒川先生に講師として紹介して頂いたのが水島数雄先生(陸軍戸山学校出身)だったのです。

最良の指導者を迎えた千工吹はその年の県吹奏楽コンクールで優勝し、関東大会(群馬県高崎市)に出場することができました。その後1970年(S45)まで千葉県の頂点に立ち続けました。(北総支部 菅澤 功さん(39M)投稿の北総支部会報「ほくそう」より)

荒川先生は1963年(S38)、茂原工業高校初代校長に就任されましたが、残念ながらその年にご逝去されました。同年、荒川先生追悼演奏会が現在の千葉市中央区にあった扇屋(当時は千葉市で唯一のデパートであった)に



において、茂原工業高校吹奏楽部と合同で先生のご家族をお招きし開催されました。奥様の涙をぬぐいながら演奏に聞き入る姿が大変印象的でした。

1960年(S35)、荒川先生が転出された後は、村井豊先生1960～1964年(S35～S39)、石渡祥照先生1965～1966年(S40～S41)、山本義彦先生1967～1995年(S42～H7)へと引き継がれていきました。

同時に外部講師として水島数雄先生1962～1972年(S37～S47)、金子建志先生1973～?(S48～?) (習志野二中の時に水島先生のご指導を受けた) などにご指導をいただき、洗練された吹奏楽団へと成長していきました。

1968年(S43)に津田沼校舎から生実校舎への移転があり、その後の部員の減少が心配されましたがその影響は全くなく、1979年(S54)までの各年度卒業部員の人数を見ると平均で12人と驚異的な数字でありました。

1969年(S44)に千葉県文化会館で開催された第12回定期演奏会は、当時では驚きの42人という大編成でした。(指揮 水島数雄/加藤幸男 司会 中島幹雄)

千工吹過去の成績

千葉県吹奏楽連盟千葉県コンクール受賞実績表によると、千工吹は1960年に初受賞、1962年から1970年まで9年連続受賞、1972年、1977年、1978年sxw受賞となり、輝かしい時代が続きました。

1978年から1982年はOB中川自通氏の献身的なサポートを受け、連続コンクール出場、1990年、1995年、1999年、2002年にもコンクール出場を果たしました。

2010年から2018年までは9年連続の受賞(顧問 清水敏明先生、篠宮幸則先生、藤平華子先生、栗原三紀子先生)と、わずかな部員数ながらも伝統の千工吹が蘇

りました。

千工吹OBOG会の活躍

2005年(H17)千工吹OBの日暮清隆氏(49E)は私的用件で母校を訪れた際、部員10名の現状にショックを受け危機感をもってこの情報を何人かのOBに伝えました。

OB達は現役との合同練習や演奏の機会を作り、いずれは定期演奏会が再開できるよう現役をサポートしようとするシナリオを企て、平成18年同窓祭(同窓会)での演奏を目指すこととし、元吹奏楽部員への声掛けに奔走しました。その結果、多くの賛同者が集い、同年4月2日の母校食堂で開催された第21回同窓祭での現役部員との合同演奏、11月25日の母校創立70周年行事での記念演奏が実現しました。

そして、このOBの集まりを勢いにOBOG会の設立へと発展していきました。

(OBOG会立ち上げ時の苦労話については、同窓会報18号に白尾健治氏の寄稿が掲載されています)

更に、母校吹奏楽部とOBOG組織の絆が深まり、毎年同窓祭への出演、2008年(H20)1月20日の総勢36名からなる「千工マーチ作曲50周年記念演奏会」開催へと繋がることになりました。(清水先生、現役、OBOG参加の合同編成)

その後も、顧問である清水敏明、篠宮幸則、藤平華子、栗原三紀子先生たちの愛情のこもったご指導と、OBOG会の献身的な支えにより2010年(H22)から9年連続の県コンクールでの受賞となり、部員数が少人数ながらも千工吹は豊かなハーモニーを奏でる吹奏楽バンドへと復活したのであります。

同窓会会報第10号(1999年(H11))の「吹奏楽と共に」で山本義彦先生は、「教職32年、千工吹と共に歩んできてよかったことを今でも誇りに思っている」と述べられるとともに、「千工吹の存続には講師にお願いした

中川自通氏(42C)、加藤幸男氏(44E)、白尾健治氏(56IE)などの卒業生の献身的なご指導があったからと言っても過言ではありません」ともおっしゃっていました。

しかしながら2010～2018年(H22～H30)代の再復活も長くは続かず、新入部員の減少に加え、2020年(R2)に発生したコロナ感染症の影響などが追い打ちとなり、休部の形で現在に至っています。

現状は、部員数ゼロ、顧問不在となっております。

り、残念ながら在校生は「千工マーチ」を知らず、校内に千工マーチが流れることもない状況となっています。

今後の方向については校内に楽器が保存されている事、校内で吹奏楽部が存在しないことについて懸念する一部の意見、吹奏楽部員を募集したいとする動きなどが見られており、千工吹の再立ち上げが期待されます。

その際は、千工吹OBOGの多面的な支援、貢献が必要となることは言うまでもありません。



千工吹の足跡 記録・保存

一方、長い歴史の中で、その時々部員や顧問の先生がどのような活動やエピソードを残してきたのかなど、「千工吹の足跡」を記録として残すべく作業が進められています。

作業の協力者としては同窓会千葉市支部ホームページに吹奏楽部に関する情報を発信し続ける豊田幹雄氏(44E)、OBOG会を立ち上げ、千工マーチ作曲50周年記念演奏会の開催をはじめ同窓祭における演奏など、母校吹奏学部を支え続けてきた中川自通氏(42C)、日暮清隆氏(49E)、白尾健治氏(56IE)、歴代部長さんなどの協力を得ながら、少しずつ完成を目指しています。是非、記録作成のための情報提供にご協力下さい。



1. 千工吹に関する過去の資料等の収集

演奏会プログラム、楽譜、写真・動画・音源 等、お手持ちのものを現物又はコピーでご提供ください。卒業アルバムでの吹奏楽部員の集合写真は大変貴重です。

提供された各資料は、年度ごとの「保管箱」(WEB上のホルダー)に保管し、いつでも、だれでも閲覧できるようにします。

(例 2008年(H20)の保管箱には、「千工マーチ作曲50周年記念演奏会」のプログラムや演奏動画が入る予定です)



2. 個人情報に関わる取り扱いについて

個人情報に関わるものについては、個々人の判断で開示、第三者に関するものについては、当人の意志確認後、提供してください。

各資料の送付については、当時のエピソード等を記載していただけると幸いです。

なお、郵送料についてはご寄付としていただけると幸いです。

- 送付先 〒261-0001 千葉県千葉市美浜区幸町2-8-8-106
(千工吹)
千葉 弘彦 (昭和41年電気科卒 吹奏楽部部長)

3. 山本義彦先生の最新の連絡先をご存じの方はご一報ください。

4. 同窓会会員名簿に連絡先を登録していない方は、差し支えなければ下記連絡先まで連絡をください。(住所不明で同窓会報が郵送されないため、千工吹情報が届きません)

第40回同窓祭のご案内

第40回同窓祭は、2025年(R7)6月29日(日) 4年ぶりにJFEみやぎ倶楽部(蘇我)で開催されることになりました。

本同窓祭について今年度は、吹奏楽部OBOG、ラグビー部OBの積極的な参加を企画しており、個人単位、年代単位(クラス会のようなもの)、その他のグループ単位での参加が可能です。仲間同士、声を掛け合って参加してください。そして、千工マーチとともにあの青春時代を思いだし、大いに語り合いましょう。

お世話になった吹奏楽部顧問の先生方にもご参加を依頼していく予定です。

<同窓祭申込要領>

会報第36号の最終ページに記載しています。

卒年、科(例 平成6年化学科卒 等)、役職(部長、指揮者、部員)、パート(楽器)を振込用紙に記載願います。(当日の名札に反映させます)

■作成中の「千工吹の足跡—創部73年」及び各種資料の閲覧

下記の手順で閲覧できるようにします。 令和7年3月～

千葉工業同窓会ホームページ → 「千工吹の足跡—創部73年」よりサインイン
(情報はマイクロソフト「OneDrive」で提供します)

■連絡先

C昭41B 春日 信行 090-2563-1244 E昭44A 豊田 幹雄 090-1454-7600
Kasuga-n@jeans.ocn.ne.jp

E昭49B 日暮 清隆 080-6734-7395 IE昭56 白尾 健治 080-5029-0280